



高島に、春がやってきました♪
桜にかたくり、菜の花に藤の花。
暖かくなったら、外に出かけてみませんか。

写真は、湖西風景写真コンテスト準優秀賞
「大桜」小林五十司さん撮影

4月号
平成17年



CONTENTS 目次

「水と緑、人の行き交う高島市」の創造をめざして…… 2・3
 平成17年度高島市予算の概要…………… 4・5
 タウンピックアップ…………… 6～9
 まちネタ写真館…………… 10・11
 そうだ、図書館に行こう♪…………… 12・13
 健康生活してますか？…………… 14・15
 みんなの子育て応援します！…………… 16・17
 情報お知らせ版…………… 18～23
 4月の行事カレンダー…………… 26・27



Home Page Address
<http://www.city.takashima.shiga.jp>
 Mail Address
 t-info@city.takashima.shiga.jp

広報たかしま 2005.4.1発行

Takashima 2005 April No.4

発行・編集 高島市役所企画部秘書広報課
 〒520-1592 滋賀県高島市新町1丁目555番地 ☎0742-25-8130
 高島市ホームページ <http://www.city.takashima.shiga.jp>
 高島市メールボックス t-info@city.takashima.shiga.jp

高島市 歴史散歩 No.4

継体天皇と高島市

『日本書紀』や『古事記』に登場し、5世紀後半から6世紀前半に実在したといわれる継体天皇は、高島市と関係の深い人物として知られています。

継体天皇は、即位までの経過に疑問点が多いこと、またその出身地について、『日本書紀』では越前国三国（福井県三国町）、『古事記』では近江国（滋賀県）とされ、など、いろいろと謎の多い天皇とされています。

ただ、この継体天皇の父である彦主人王が近江国三尾（高島市）の出身であること、また継体天皇の後妃8人のうち4人が近江国出身であることなどから、近江国とくに高島市との関わりは早くから注目されてきました。

高島市内には、現在も継体天皇にまつわるいくつかの伝承や文化財が残されています。安曇川町常磐木にある三重生神社は、継体天皇の両親である彦主人王と振媛を主祭神とし、由緒で

は、彦主人王がこの場所で亡くなったので、後に社を建てて振媛を併せて祭ったと伝えられています。また、この神社の南方約500メートルの場所には、彦主人王の墓とされる田中王塚古墳があります。



田中王塚古墳

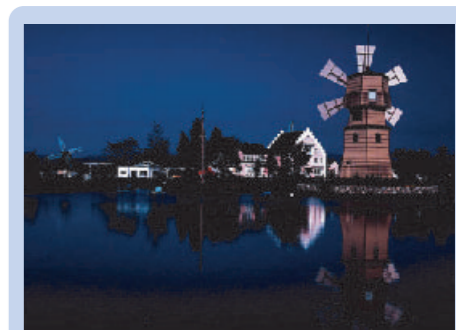
その近くの安曇川町田中の馬場区と陵区が接する辺りには、「三尾神社跡」とされる場所があり、ここには振媛が継体天皇ほか2児を無事に出産したときにもたれたと伝えられる「もたれ石」が残されています。三尾神社は、高島市南部に勢力をもっていた古代豪族三尾君に關係する神社といわれ、「三尾」の名前は、高島町拜戸の水尾神社や安曇川町三尾里との関わりもわかれます。



もたれ石

その三尾里には、継体天皇の第一皇子の安閑天皇を主祭神とする安閑神社があります。神社の詳しい由緒などは分かっていませんが、この神社の境内には「神代文字」を刻んだ石碑があることが知られています。文字は、記号とも絵ともいえるもので、装飾古墳の一部であったとも、三尾神社に伝わった「秀真伝」に記される古代文字と關係のあるものとも言われています。

(文化財課)



「映」撮影：田中延子さん
 第5回湖西（高島市）風景写真コンテスト最優秀賞作品



湖西（高島市）風景写真コンテストで最優秀賞を受賞された田中延子さん

編集後記

▼「ただ美しいだけでなく感動的な部分が強調されるように撮影しました。湖西で初めての出版が今回の受賞となり大変喜んでます。」とは、最優秀賞を受賞された田中延子さんのコメントです。▼「感動できる風景がすぐそこにある」。コンテスト入選作品を見て実感しました。応募総数359点から選ばれた23点の入賞作品は、それぞれとても素晴らしい。ここで全てを紹介できないことがとても残念です。今月号で紹介した作品以外の入選作品の展示会場などを知りたい方は、湖西こだわりの郷協議会（☎22318）までお問い合わせください。▼みんなが待ちに待った春は、幸せな気持ちいっぱいの花の季節です。さあ、カメラを持って出かけましょう。みなさんの感動スポットを教えてください。

(広報担当)

